

発行：東京電機大学経営同友会 編集：企画運営委員会（委員長 市川信行）

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番（東京電機大学研究推進社会連携センター内）

TEL:03 (5284) 5261 FAX:03 (5284) 5242

E-mail: doyukai@jim.dendai.ac.jp Webサイト: <https://www.tdu-ma.jp/>



副会長あいさつ



東京電機大学経営同友会
副会長 鈴木 茂昭

今日は2022年1月30日です。オミクロンと命名されたウイルス菌が猛烈な勢いで感染を広げていますが、会員の皆様はお変わりありませんか？

「お変わらないわけないだろう、馬鹿野郎!!」というのが多くの方の気持ちだと思います。

2019年末頃からあっという間に世界に拡散した新型コロナウイルスが働き方を変えました。密を避けるため出勤停止、リモートワーク、その結果会社に出なくてもできる仕事がたくさんあったことが明るみに出てきました。まともに仕事ができな社会環境になってコロナ不況、倒産多発となると思いきや、不思議なことに空前の増収増益の製造業が続々と出ています。黒字決算を

発表している企業も工場部門の規模縮小、自宅待機を実施しています。それでも生産が維持できているという事は、自動化の進展でほとんど人手を必要としなくなっているという事か？

一方自宅で密を強いられている人たちは、リモートワークだけでは時間を持て余し仮想世界で遊ぶ道具を手に入れてデジタルツインだVRだ仕事はデジタルトランスフォーメーション。報道によるとリモートワークの次は週休3日が普及するとのこと。コロナ騒動で働き方が変わるそうです。週休3日仕事のある日もほとんどリモートワーク、給料はこれから国の方針でどんどん上げていくとのことですので、コロナ明けの世界は労働者の天国になると思われます。

我が国のオミクロン感染のピークは2月4日ごろとの予測が報じられています。この会報が皆様のお手元に届くころにはコロナも開けて、天国が到来していることを祈念してあいさつに替えさせていただきます。

令和3年度の主な活動

- 役員会……第66回～第69回を対面、Zoomを併用し開催。またメール役員会を3回行った。
- 総務委員会……Zoomで4回、またメール委員会6回開催。1月に会員関連企業紹介誌を発刊。
- 事業推進委員会……10月30日、31日に開催された第10回旭祭にオンライン併用で参加。
- 交流推進委員会……電大経営塾をオンラインで4回開催。学園就職ガイダンスにも参加。
- BSC委員会……自社紹介写真展をWebで開催。
- 企画運営委員会……委員会を2回開催し、特別講演会の準備、対応並びに会報の編集を行った。
- 特別講演会……第53回、第54回特別講演会をZoom併用で開催。

経営同友会ホームページのご案内

東京電機大学経営同友会ではWebサイト(ホームページ)を開設して、会員の皆様、並びに外部の方に対して情報発信を行っています。主な内容は、経営同友会の概要、活動内容、連絡先、入会手続等で、経営同友会がどんな活動を行っているかの概要が把握できるようにしています。サイトはWordPressというCMS(Content Management System)を使って構築しており、専門知識なしでWeb

ページの更新・追加ができるようになっています。

また、画面幅に応じて自動的にデザインが変わるレスポンシブデザインになっていますので、PCでもスマートフォンでも違和感なくご覧いただけます。活動内容の把握や新規会員の勧誘にぜひご活用ください。

(総務委員会)

HP: <https://www.tdu-ma.jp/>



「電大経営塾」の狙いと活動状況

インターネットや携帯電話の技術革新と普及に伴い、企業の経営環境は大きく変わりつつあります。さらに、コロナ禍によってリモートワーク化が一気に進み、より一層変化が加速されてきました。企業経営の舵取りもさらに難しくなっています。このため、企業の経営について改めて考える場を提供すればお役に立てるのではないかの思いで令和3年度に新たに企画したものです。

具体的には次の知見を得ることを目標としました。

- イノベーションの進展やビジネスモデルの変化による企業の栄枯盛衰を知る
- 企業会計の概略を知り、財務諸表の分析ができる
- 報道される企業ニュースの背景が分析できる
- これからの企業経営の方向性を考えるきっかけとなる

進め方は、ゼミナール形式とし、あらかじめ選定した方から発表していただいた後、参加者相互でディスカッションを行うこととしました。また、開催方法は、コロナ禍により当面はZoomによるオンラインとしました。

参加者は、経営同友会の会員のみならず、会員企業の社員ならびに東京電機大学の在学生にも範囲を広げて募りましたが、残念ながら在学生からの参加申込みはなく、会員および会員企業の社員のみで十数名にご参加いただきました。

これまでの開催状況と今後の予定は次のとおりです。

第1回(令和3年9月)イントロダクション1(企業の栄枯盛衰とビジネスモデル)

番外(令和3年9月)第1回の内容を学生向けにアレンジして就職ガイダンスで説明

第2回(令和3年10月)イントロダクション2(財務諸表の意味と読み方)

第3回(令和3年11月)インターネット接続事業と株式会社インターネットイニシアティブ

第4回(令和4年2月)「仕事は人なり ～会社創業前後の多様な人との繋がり～」

鈴木茂昭氏(アストロデザイン株式会社代表取締役社長)

「電大経営塾」は新しい企画ですので、試行錯誤しながら運営方法を改善して行きたいと考えています。第3回までは土曜日の午後に開催していましたが、ご都合がつかない方が多そうなため、第4回は平日夜の開催を試み、また、テーマも新たに体験談をお話いただくことにしました。今後とも皆様のご意見を頂きつつ、さらに改善していきたいと考えておりますので、まだご参加いただけない方にも、ぜひご参加いただければ幸いです。

(交流推進委員会)

第10回 旭祭への出展

令和3年10月30日(土)～31日(日)、2号館8階2805室にて、会社案内、製品カタログ、パネル等を用いた会員企業の紹介を行い、2日間で、205名が経営同友会のブースに来場されました。

出展の様子は経営同友会のFacebookにも掲載しています。(事業推進委員会)

【出展企業】

アストロデザイン(株)、池上通信機(株)、川北電気工業(株)、(株)九電工、(株)京三製作所、CKD日機電装(株)、志幸技研工業(株)、(株)大気社、(株)辰巳菱機、田村総業(株)、(株)トプコン、(株)ナテック、能美防災(株)、平河ヒューテック(株)、(株)明電舎(15社)



●東京電機大学経営同友会 Facebook

<https://www.facebook.com/groups/740282926891966>

QRコードはこちら ⇒



令和3年度特別講演会

令和3年度は2回の特別講演会を開催しました。昨年度はコロナ禍で中止とさせていただきますが、丹羽ホールでの参集だけではなく、私学で最初に導入されたネット上でのZoomを活用したハイブリッドでの開催で行いました。会場の人数は大幅に減りましたが、ネッ

ト上で多くの方に参加いただきました。

2回の講演は、共にコロナ禍の課題そしてそのソリューションでしたが、違う視線、立場、そしてロボット技術の活用などの講演であり、大変興味深くお聞きいただけたと思います。(企画運営委員会)

【第53回特別講演会】

令和3年6月17日開催

講師は当学園の客員教授も務められている渡邊政嘉博士にお願いいたしました。「With/After コロナ時代の生き残り戦略」～ピンチをチャンスに変える仕事と暮らしの変革～と題してのご講演でした。



渡邊 政嘉 氏

渡邊先生は通商産業省にご勤務され技術系行政官として、産総研、NEDにも関わられてイノベーション政策の最前線でご活躍されています。コロナ禍で何が起きているのか、不可実性の高まり、サプライチェーンの崩壊の実例、そして我々はどう戦うのか、DXへの取り組み方、カーボンニュートラルへの深耕、そ



して国の支援戦略など具体例を挙げてお話いただき、ウイズコロナ時代を生き抜くための事業再構築へのヒントを多くいただきました。

【第54回特別講演会】

令和3年12月2日開催

講師は(株)MOGITATE代表取締役の北河博康氏にお願いしました。北河氏は三井住友海上保険(株)に長くご勤務され、令和3年春にご退社、(株)MOGITATEを設立し代表者を務められています。三井住友海上保険(株)時代には新サービス、新商品の開発にご従事され後の多くの業界スタンダードを手掛けられています。また官公庁への提言、提案活動を行い、ロボットビジネス、AI、IoT、など、「官民連携スキーム」を進められて来られました。



北河 博康 氏

今回の講演は「コロナ禍で加速！ロボットビジネスの最前線」～”ピンチ”を”チャンス”に活かす発想と行動～と題してご講演いただきました。

保険会社在职中から、全国を飛び歩き地域産業振興などのソリューションに活躍。その中でロボットビジネス、農業ビジネスに特に大きなビジネスチャンスがあることを見出し、産官学によるビジネスプラットフォームの構



築を目指しNPO法人を設立されました。ロボット新興企業への進むべき方向性などをレクチャーし、インキュベーター的活躍を行いながらビジネスマッチングを行うことで、省力化を進めたスマート農業を実現することができ、農業にかかわらずロボットの活用が人手不足対策、労災事故防止、高付加価値化、新産業の創出につながることを、多くの事例を上げて紹介いただきました。

会員関連企業紹介の発行について

令和3年12月に、18年ぶりに会員皆様のご協力により企業紹介誌を発行いたしました。

紹介誌には会員の卒業大学、学科・専攻、卒業年、職歴も掲載しており会員同士の交流促進に役立てていただきたいと思います。今回は50社の紹介と成りましたが次回は掲載企業を増やしたいと思います。 (総務委員会)

【掲載企業】

アイコムシステック(株)、アストロデザイン(株)、(株)アバンテージ、飯塚国際特許事務所、池上通信機(株)、INSIGHT LAB(株)、エクシオグループ(株)、(株)荏原電産、応用光研工業(株)、(株)小矢部精機、亀田製菓(株)、川北電気工業(株)、(株)京三製作所、協同電子エンジニアリング(株)、(株)計測技術研究所、(株)コスミック エム

イー、三光ソフランホールディングス(株)、CKD日機電装(株)、志幸技研工業(株)、(株)システム情報、システムズ・デザイン(株)、(株)システムラボ、司法書士法人 芝トラスト、信号器材(株)、(株)ジュパ、(株)白川電機製作所、信越エンジニアリング(株)、(株)精美電機製作所、(株)大気社、多紀システック(株)、田村車体(株)、中立電機(株)、ティー・ワイ・エス(合)、東都工業(株)、東洋熱工業(株)、(株)トプコン、中野電子工業(株)、成瀬電気工事(株)、ニッケイ(株)、日本アクティ・システムズ(株)、日本フレーバー工業(株)、能美防災(株)、BNB Japan(合)、日比谷総合設備(株)、平河ヒューテック(株)、広沢電機工業(株)、(株)Premtec Japan、ベル・テック(株)、ホーチキ(株)、北総電機産業(株)

●以下はほんの一例です。



編集後記

先日、社内の会議で、「家のがウイルスにかかったよ…」の発言。皆ドン引き。続いて「パソコンが…」。非難ごうごう。コロナに始まり終わりを迎える令和3年度でした。

メーカーに勤務する私は、電子部品だけではなく、樹脂、金属そしてケーブルまで入手が困難となり、その対応に追われ続けています。まさしく世の

変革です。

Vol.2 はいかがでしたか。今まで通りではない同友会の活動を投稿いただきました。本会発展のため、今後とも渡辺会長のもと、皆様とWith コロナ下での活動を模索していきたいと思ひます。

皆さまのご健康を祈念いたします。

(企画運営委員会)